

速報!

玉手健裕校長 平成 30 年度文部科学省 教育功労者表彰受賞

文部科学省より、長年にわたり教育に尽力した人に贈られる教育功労者表彰を本年、玉手健裕校長が受賞。この表彰は、秋の叙勲に時期を合わせて、長年にわたり教育に尽力された方々の功績をたたえて贈られるもの。11月30日、文部科学省での表彰式の後、皇居にて拝謁、玉手校長、奥様の玉手幸子先生同伴で出席の予定。

玉手校長の功績については右のとおり。振り返れば、昭和50年代から平成が終わろうとする本年まで、社会状況の変化は非常に激しく、それに伴い、学校としての在り方も大きく変革を求め

られた。その中で、玉手校長は時代を見通した2回の教育課程改訂、獅子崎への移転と、激動の時をリーダーとして職責を担い、教員を率いてこられた。

「この受賞は暁星教育全体への表彰であると思い、大変喜ばしく、この喜びを皆様と共に分かち合いたいと思います。」と教員一同に受賞を報告された。

《玉手健裕校長功績》

- ❖ 昭和47年より本年に至る46年間、暁星教育に尽力した。
- ❖ 昭和57年から22年間、教務主任として2回の大きな教育課程改定、平成15年の新築移転に携わった。また、登校が安定しない生徒に対して、細やかな関わりを実践し、他教員の資質向上を図った。
- ❖ 校長として、府立高校と共存する圧倒的に不利な状況の中、生徒募集をはじめとする学校運営に手腕を發揮し、創立100周年行事を企画実施し、成功を収めた。
- ❖ 京都府私学連合会理事・私学振興会幹事をはじめ、京都府における私学全体の活動に尽力した。

等

